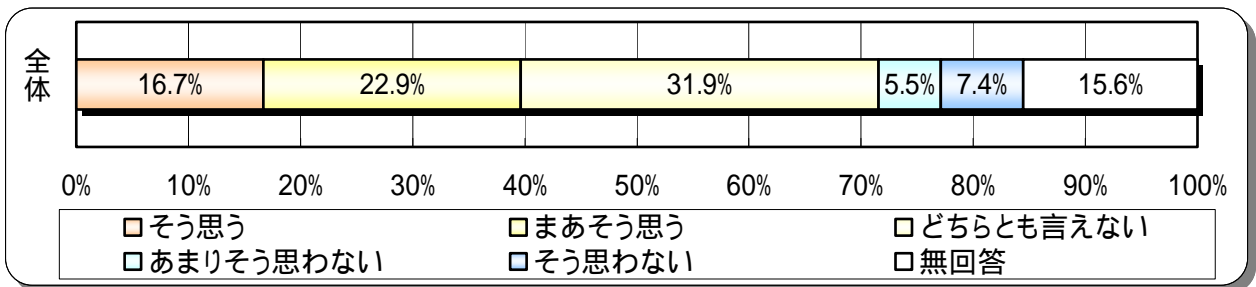


### 3 - 2 自然や環境を守るために生活や家族の仕事に規制がかかっても良いか

設問 羽幌町のあなたの大切な自然や環境を守り育てるために、自分の生活や仕事に少し規制がかかってもいいですか

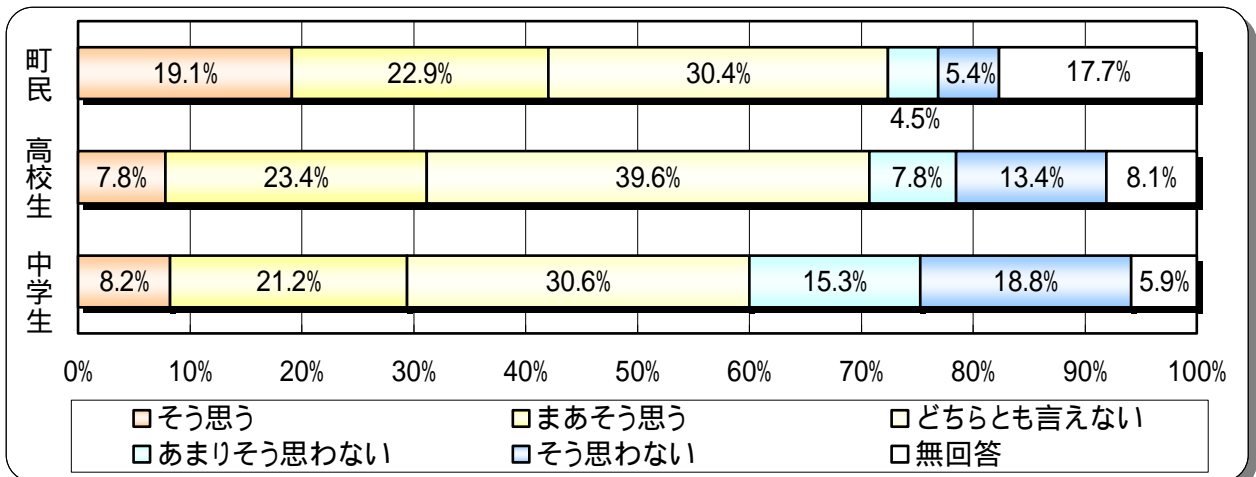
本設問は町民、高校生、中学生に対し質問した。

#### <全体（町民、高校生、中学生）>



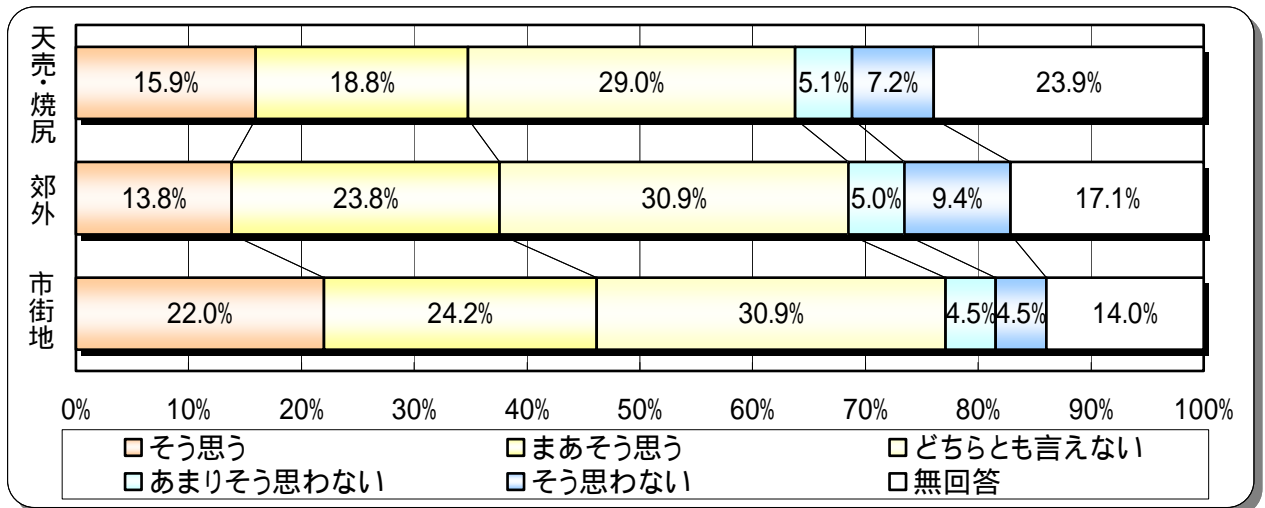
- ・ 全体については、規制に対する協力的な意向が見受けられる
- ・ 「どちらとも言えない」との回答も多いため、規制等を実施する際には住民説明等を十分に行い、理解と協力を得ることが重要である
- ・ 3 - 1において町やその他の機関がすべきことの中から「規制」に関わる内容として、「農薬の使用規制」や「漁獲量制限」、「開発規制」が挙げられている

#### <回答者群による傾向の違い>



- ・ 町民、高校生、中学生を比較すると、「そう思う」「まあそう思う」との回答が最も多いのは町民で、次いで高校生、中学生の順に少なくなっており、それに対して、「あまりそう思わない」「そう思わない」については、最も回答が多いのは中学生で、次いで高校生、町民の順に少なくなっている
- ・ 規制に最も協力的な意向が強いのは町民で、協力的な意向が弱いのは中学生である

<地域別クロス集計（町民）>



- ・ 地域別には市街地地区の回答者が規制に対して協力的な意向が最も強い
- ・ それに対し、最も協力的な意向が弱いのは天売・焼尻地区の回答者であった。自然が観光資源であり島の生活を守らなくてはならないため、保全する必要があると認識しているはずの島民が規制に最も賛成していないのは、規制によって開発だけでなく、観光に係る活動まで規制対象になることへの懸念があるのではないかと推察される